



令和2年1月18日
独立行政法人国立科学博物館

世界で最も大きな「花」のひとつ

ショクダイオオコンニャクが開花しました

国立科学博物館筑波実験植物園（園長 樋口 正信）では、世界で最も大きな「花」のひとつといわれるショクダイオオコンニャクが開花しました。

令和2年1月14日付でプレスリリースしました世界で最も大きな「花」のひとつといわれるショクダイオオコンニャク（燭台大蒟蒻）が令和2年1月18日に開花しました。

咲いて3日目には萎れてしまうことから、多くの方にご覧いただけるよう、明日1月19日から3日間は開園時間を8:30～17:00（入園は16:30迄）に延長します。

開花による大きな変化が見られるのは今夜（深夜）です。本日（1/18）21:00から報道関係者への説明と、撮影機会を設けますので、本日21時までに当園の研究管理棟1階ロビーにお集まりください。

開花までの成長の様子と見どころについては、ウェブページでも公開しています。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：堤 千絵（植物研究部 多様性解析・保全グループ研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>

（ <http://www.tbk.kahaku.go.jp/news/konnyaku/> ）